

令和8年度 編入学（一般・推薦）

## 看護学部

### 看護学 (120分)

#### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、9ページあります。なお、下書き用紙が1枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

1 次の問いに答えなさい。(30点)

問1 下記は、良質の医療を受ける権利に関連する声明についての説明文である。文章の①～③に入る適切な語句を記入し、文章を完成させなさい。

1948年に開催された世界医師会総会で採択された[ ① ]宣言は、人命尊重を基本理念とした医師の職業倫理に関する声明である。その後、1964年には「ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則」を定めた[ ② ]宣言が世界医師会総会で採択された。また、1981年には、患者の権利に関する宣言として[ ③ ]宣言が採択された。

問2 法令上、保存が求められている下記の記録のうち、保存期間が最も短いものはどれか、数字で答えなさい。また、その保存期間を記入しなさい。

1. 診療録(カルテ)
2. 看護記録(診察に関する諸記録の一部)
3. 助産録

問3 良肢位を保持する際に関節と良肢位の角度の組み合わせで正しいのはどれか。2つ選び、数字で答えなさい。

1. 肩関節：内転 10～30度
2. 肘関節：屈曲 30度
3. 手関節：背屈 20～30度
4. 膝関節：屈曲 90度
5. 足関節：背屈・底屈 0度

問4 500Lの酸素ボンベ(14.7 MPa 充填)の内圧が10 MPaを示している。この酸素ボンベを用いて、4L/分で酸素吸入を行う。この酸素ボンベの使用可能な時間と計算式を答えなさい。ただし小数点以下の数値が得られた場合は、小数点以下第1位を四捨五入して整数値で記入しなさい。

問5 成人女性に膀胱留置カテーテルを挿入する方法についての説明文である。文章の①～⑤に入る適切な語句、または数字を記入し、文章を完成させなさい。

成人女性に膀胱留置カテーテルを挿入する際には、カテーテルの先端に水溶性の〔 ① 〕を塗布する。カテーテルの挿入の長さは、外尿道口から〔 ② 〕cm～〔 ③ 〕cm 挿入する。尿の流出を確認後、さらにカテーテルを2cm程度進め、固定用バルーンを膨らませる。尿の流出を確認せずに固定用バルーンを膨らませると、〔 ④ 〕で膨らむ危険性がある。固定用バルーンには、〔 ⑤ 〕を注入する。

**2** 次の問いに答えなさい。(16点)

問1 看護師が病院のトイレ内で倒れている患者を発見した。呼びかけても反応がない。この看護師が最初に実施すべきなのはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 脈拍を確認する。
2. 胸骨圧迫を開始する。
3. トイレ内のナースコールで応援を呼ぶ。
4. 自動体外式除細動器(AED)を取りに行く。

問2 心原性ショックで現れる症状・徴候はどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 顔面の紅潮
2. 胸部不快感
3. 血圧の上昇
4. 尿量の増加

問3 成人の一次救命処置(BLS)における胸骨圧迫の速さ(回数)と深さについて、適切な数字を書きなさい。

胸骨圧迫の際は、胸骨の下半分に手掌の付け根を置き、1分間に〔 ① 〕～〔 ② 〕回のテンポで、胸骨が〔 ③ 〕～〔 ④ 〕cm沈むように圧迫し、胸郭を完全に戻す。

**3** 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(14点)

Aさん(63歳,男性)は、3年前から慢性閉塞性肺疾患(COPD)で定期受診を続けていた。最近、歩行時の息切れが強くなり労作時の息苦しさを自覚し、心配になったため受診した。受診時の呼吸数は34/分で、口唇のチアノーゼがみられた。

問1 慢性閉塞性肺疾患(COPD)について正しいのはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 残気量は減少する。
2. %肺活量の低下が著明である。
3. 肺コンプライアンスは上昇する。
4. 可逆性の気流閉塞が特徴である。

問2 Aさんの労作時の息切れや息苦しさを緩和するための呼吸法の指導について、3つ書きなさい。

**4** 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(25点)

Aさん(60歳,女性)は、夫と50歳で離婚し、娘夫婦と同居をしている。離婚後から、飲酒量が増え、仕事にも影響して無職になった。飲酒をしなければ無口で穏やかな性格であるが、日中に娘夫婦が仕事に行くと、ウイスキーや焼酎を多量に飲酒し、隣人や娘夫婦に意味不明な暴言を吐き、動けなくなるまで飲酒をしている。娘夫婦は、近所の人に頻繁に謝罪に行くことが多く、嫌気がさし、Aさんに酒を飲むのをやめて欲しいことを日頃から話していた。Aさんは、「私は、お酒の量を調整して飲んでいるし、飲んでいる方が体の調子が良い」と話し、断酒をする必要性を感じていない様子であった。娘がAさんを説得し、精神科を受診し、アルコール依存症の治療目的で入院となった。

問1 この入院の入院形態を述べなさい。

問2 入院後に予測されるアルコールの早期離脱症状を2つ書きなさい。

問3 Aさんは、退院後も入院前と同様に娘夫婦と同居を続けていくことを希望している。退院に向けて、Aさんが娘夫婦と同居を続けていくために必要な看護を3つあげ、その根拠について述べなさい。

5 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(30点)

Aさんは78歳の男性で、妻は他界し、娘が1人いるが県外に住んでいる。Aさんは、同じ内容を1日に何度も娘に電話をすることが増えており、心配した娘がAさんを訪ねると、いつも整理整頓をしてきれいだっただったAさんの自宅は、物が整理されておらず、同じ洗剤や食材があふれている状態になっていた。近所の知人も、最近物忘れが多くなり、買い物をしている道でいつも迷っているのを見かけて心配していた。Aさんは、脳神経内科を受診し、アルツハイマー型認知症と診断された。認知症の状態は、長谷川式簡易知能評価スケールで20点、認知症高齢者の日常生活自立度でランクⅡ(Ⅱb)と診断され、アルツハイマー型認知症の進行抑制剤が処方された。その後、介護保険の申請の結果、要介護2と認定された。

問1 介護保険について述べられている以下の文章の①～⑧に入る適切な語句、または数字を記入しなさい。

介護保険制度の仕組みとして、保険者は〔 ① 〕であり、税金が〔 ② 〕%、保険料が〔 ③ 〕%である。介護保険制度の被保険者は、65歳以上の第〔 ④ 〕号被保険者と、40～64歳の医療保険加入者である第〔 ⑤ 〕号被保険者である。介護保険サービスは、65歳以上の者は原因を問わず要支援・要介護状態となったときに、40～64歳の者は特定疾病が原因で要支援・要介護状態になった場合に受けることができる。特定疾病には〔 ⑥ 〕や〔 ⑦ 〕がある。介護認定の流れでは、本人または家族等が申請すると、訪問調査と〔 ⑧ 〕の結果をもとに1次判定がおこなわれ、2次判定を経て要介護認定の結果が決定する。

問2 Aさんに必要だと考える介護保険による居宅サービスを3つ書きなさい。

6 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(15点)

Aさんは、妊娠6週の初産婦である。妊娠前よりも体重が1kg減っている。「食べると吐き気がしてもどしてしまいます。常にむかむかして気持ち悪いです」と話している。

問1 アセスメントに必要な情報で最も優先順位が高いのはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. BMI
2. 尿ケトン体
3. Ht値
4. 血糖値

問2 Aさんの食事摂取方法について保健指導で最も適切なのはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 塩分摂取を減らす。
2. 1回の食事量を増やす。
3. 低タンパク食を摂取する。
4. 食べたいものを食べたいときに摂取する。

問3 妊娠10週でAさんから「つわりが落ち着いたら妊婦水泳をしようと思うのですが、どうでしょうか」と相談された。医師の許可を得た上で、看護師が行う最も適切な対応はどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 16週から始めましょう。
2. 12週から始めましょう。
3. 毎日2時間程度泳ぎましょう。
4. 15℃の水温で行いましょう。

7 以下の文章の①～⑤に入る適切な語句, または数字を下の a ～ o から選びなさい。(10点)

1. 母体の基礎代謝率 ( kcal / m<sup>2</sup> / 時) は妊娠前よりも [ ① ] %増加し, 糖代謝・タンパク代謝・脂質代謝は増加する。その他, [ ② ] の増加や, 分娩・産後に備えた [ ③ ] のために, 妊娠各期に応じた付加量が必要である。妊娠中期のエネルギー付加量は [ ④ ] kcal / 日とされている。
2. 妊娠期間を通した推奨体重増加量は, BMI 18.5 以上 25.0 未満の場合, [ ⑤ ] kg である。

a. 血液量	b. 糖	c. 体重保持	d. 体力保持	e. タンパク
f. 核酸	g. 脂質	h. 0.3~0.5	i. 0.5~1.0	j. 7~12
k. 8~15	l. 9~12	m. 20~25	n. 150	o. 250

**8** 次の問いに答えなさい。(30点)

問1 乳児の運動機能について、約90%の児が可能になる時期として適切な組み合わせはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 生後1～2か月未満 …… 首のすわり
2. 生後4～5か月未満 …… 寝がえり
3. 生後6～7か月未満 …… つかまり立ち
4. 生後9～10か月未満 …… ひとりすわり

問2 J・ピアジェの認知発達理論では、子どもの発達には4つの段階があるとされる。7～11歳の時期にあたる段階はどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 形式的操作期
2. 前操作期
3. 具体的操作期
4. 感覚運動期

問3 受診した児童に不自然な外傷を見逃さないことが虐待の発見に繋がることもある。虐待の可能性が疑われる児童にみられる特徴を5つ説明しなさい。

問4 百日咳について、正しいものには○、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

1. 血液像ではリンパ球の減少がある。
2. 新生児期には発病しない。
3. カタル期には高熱がある。
4. レプリーゼが特有である。
5. 百日咳は予防接種法に規定されていない。

9 次の問いに答えなさい。(30点)

Bさんは30歳の女性で、来日3年目の在留外国人である。産科外来を受診し、妊娠していることがわかった。夫も外国籍で夫婦とも在留資格を取得し、勤務先企業の健康保険に加入している。Bさんは日本での出産を希望し、出産後も就労したいと考えている。

問1 Bさん夫婦とその子どもに関する説明で正しいものはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 出産育児一時金は給付されない。
2. 母子健康手帳の交付は受けられない。
3. 妊婦健康診査は公費の助成を受けることはできない。
4. 居住する市区町村に出生届を提出する必要がある。

問2 地域包括ケアシステムにおいて一体的に提供されるもので誤っているものを1つ選び、数字で答えなさい。

1. 医療
2. 介護
3. 住まい
4. 子育て支援

問3 条件を満たした場合に健康保険の対象となるものはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 人間ドック
2. インフルエンザ予防接種
3. 禁煙外来
4. がん検診

問4 母子保健法に規定されているものはどれか。1つ選び、数字で答えなさい。

1. 新生児訪問指導
2. 不妊手術に関する事項
3. 人工妊娠中絶に関する事項
4. 受胎調整の実施指導

問5 勤労女性に関して労働基準法で規定されているものを1つ選び、数字で答えなさい。また、選択した数字の規定について説明しなさい。

1. 介護休業
2. 子の看護休暇
3. 産前産後の休業
4. 雇用における女性差別の禁止